



名古屋市 公会堂

名古屋市公会堂は昭和区鶴舞にある、定員1994名の大ホールと定員780名の4階ホール、9室からなる集会室等で構成された鉄骨鉄筋コンクリート構造の建築物。正面ファサードの出入口の大胆な三連アーチが印象的。
※現在改修工事中。平成31年4月再開の予定。



愛知佐一郎が全国の自動車販売店に語りかける一番の見せ場を名古屋市公会堂で撮影。早朝から夜遅くまでロケが行われ、「なま」ローケーション「なま」ほの国東三河ロケ応援の協力もあり、のおおそそ1,300人もお揃いで公会堂の大ホールを埋め尽くした。

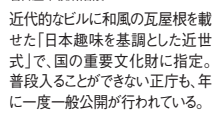


名古屋市役所

戦後、自配（自動車配給会社）の解体を求め、GHQとの対談に望むシーンを撮影。重厚で趣のある名古屋市内には、こうした会議や会議などのシーンに用いられることも多く、本作でも別シーンのロケが行われている。



名古屋市役所正庁



名古屋市役所階段

近代的なビルに和風の瓦屋根を載せた「日本趣味を基調とした近世式」で、国の重要文化財に指定。普段入ることができない正庁も、年に一度一般公開が行われている。

愛知県名古屋市中区三の丸3丁目1-1

八事山 興正寺



1688年に創建された寺で、尾張徳川家の祈願所としても有名。東西二山に分かれ、ドラマにも登場した西山の五重塔は、1808年の建立。緑日やマルシェも定期的に行われ賑わいを見せる。



愛知県名古屋市中区八事本町7-8



1888年に創業したクラブウの原点、綿紡績を支える工場の一つ。

クラブウ 安城工場



愛知自動織機製作所の工場としてクラブウ安城工場が登場。広大な施設に並ぶ完成車体が、大衆生産の規模を印象づけた。

豊田鉄工



シナットの開発に研究を重ねるシーンで登場。鋳造シナットを作るのだが、既存のものでは当時使われていたものより短くなるため、見た目に違和感が生じてしまう。そこでアリエティを持たせるため、新しく鋳造からシナットを作るといったわりを見せた。



豊橋市公会堂

正面両側のドーム頂上までの高さは16m。ロマネスク様式の風格のある雄姿、意匠などが建築界においても高く評価されている。国の登録有形文化財。



豊橋市



各メーカーはより良い自動車を作ろうと努めています

GHQとの会議に望む山崎と菊間。乗り越えなければならぬ壁を彷彿とさせるように、豊橋市公会堂の正門が映し出された。一部CGで表現されているため実際の公会堂との違いを見比べても面白い。前作「リターンズ」でも使われている。



愛知県豊橋市八町通2丁目22



長興寺



山崎空寺を買い取り作ったみゆき旅館。そこで行われた販売店の責任者会議のワンシーンで、続々と集まる人々を撮影。門までの奥行きが、中には登場しない建物の大きさを表現した。



愛知県田原市大久保町岩下8

1275年に創建されたと伝えられる、田原城を築いた戸田氏の菩提寺。長く、屈折した参道と回廊を備えた伽藍配置が特徴的。藤原期製作の県指定文化財・木造観世音立像（通称・鉦影観音）が鎮座している。



新城総合公園



佐一郎が山崎の名前を知ることを、中等学校野球大会決勝戦を撮影。大正時代を撮影するため、球場の設備をはじめ周囲に近代的な設備が写り込まない新城総合公園が選ばれた。撮影はおよそ1,000人もエキストラが集まり、球場での盛り上がりを見出した。



愛知県新城市浅谷字ヒヨイタ40



鞍掛山(標高883m)に水源を持ち、麓に広がる棚田。季節・時間帯によって様々な表情を見ることが出来る。水と緑にあふれ多様な動植物の住処にもなり、奥深い魅力を生み出している。



本作品の中核をなす車作りの中で、一番の難所となった峠越えのシーンを撮影。辺に遮るものない棚田は撮影には適しているものの、道が細く肝心の車が通れないという難点も。撮影は困難を極めたが、棚田を管理する地元の方の協力があり、ドラマと同じく最大の見せ場を乗り越えた。



愛知県新城市四谷



愛知県新城市四谷

四谷の千枚田



新城市